

【様式 2】

学校関係者評価書

佐賀市立高木瀬小学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和6年2月13日(火)

(2) 資料

- ・R5 学校評価表
- ・R5 「よりよい高小アンケート」結果及び考察

(3) 評価者 5名

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は地域が育てたい子ども像にも合致している。
- ・学校の状況から見ても、中間評価からの改善を見ても、学校運営がうまくいっていることが見て取れる。
- ・アンケートの数値が落ちている項目もあるが、保護者の要求が高過ぎるのではないか。または、保護者が分からないまま評価していることもあるのではないか。先生方はよくやっている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・目指す学校像・子ども像に、また、学校課題に応じた取組みがなされている
- ・アンケート結果を見ると学校の自己評価が厳しいのではないかと思う箇所がある。
- ・働き方改革は昨年度よりも大きく改善したものの、さらなる改善が必要だと思われる。

③改善方策の適切さ

- ・中間評価でBだった箇所に適切に手が打たれている。
- ・課題のひとつであった「車での送迎」について公民館での乗車が減ってきていることは成果のひとつである。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・それぞれの目的にあった教育活動が展開されている（「ピンクシャツデー」の取組み等を紹介）。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・コロナの2類移行に伴い学校行事や地域行事が増え、地域との連携が可能になってきた。
- ・挨拶の取組みは良い。地域でもよく挨拶をしている。
- ・将来の夢をもっていることが素晴らしい。教育活動の成果である。
- ・自己評価の低い（ほめほめ活動・学習課題）については分析（マンネリ化・取組みの個人差）を基に、改善を図ってほしい。

③改善方策の適切さ

- ・地域からの声や学校評価アンケートのご意見に対し、すぐに改善を図ったり対応をしたりしていることは評価できる（カーブミラー・安全坊や）。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・地域にも SOS を出してほしい。また、どこにどのようにして申し出ればよいのか、周知を図ってほしい。